

ロゴマークへ込める思い



Community Future Design Center

地域未来デザインセンターの頭文字C, F, D, Cを縦に並べ、全体として建物の設計図のイメージで、常に新しいものをつくっていく意志を表しています。走り書きのように見えるのは、human(人)、society(社会)、economy(経済)、nature(自然)で、本センターが目標とするwell-being(本質的に満足した状態)の資源を表しています。

ACCESS



「福島駅」よりJR東北本線(約10分)
「金谷川駅」下車 徒歩10分



「福島駅東口」5番ホールから「医大経由二本松行き」に乗車
「福島大学」下車(所要時間約30分)



「福島松川スマートIC」より約5.5km



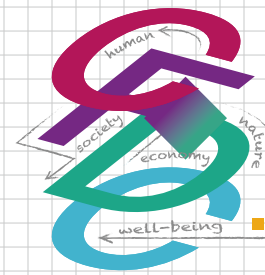
東側外観
(2F イノベーションコモンズ)



西側外観
(1F インキュベーションルーム)



専用駐車場



福島大学
地域未来デザインセンター
Fukushima University
Community Future Design Center



共に創る・進む

ふくしまの暮らしを・地域を・社会を・人を・つながりを創る、
そして未来に進む



福島大学
Fukushima University



福島大学
地域未来デザインセンター

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地 地域未来デザインセンター(受付2F)

Tel: 024-548-8012 Fax: 024-548-5244

E-mail: designc@adb.fukushima-u.ac.jp

ホームページ <https://cfdc.net.fukushima-u.ac.jp>

地域未来デザインセンターがめざすもの

2022年(令和4年)4月
地域未来デザインセンター発足

地域創造支援センターとうつくしまふくしま未来支援センターを発展的に統合。地域の課題解決およびイノベーション創出に貢献するとともに、新しい地域社会の在り方を提案し、地域創生に寄与することを目的とする。

復興における課題 ●産業再生の停滞 ●ハード偏重ソフト軽視

21世紀的課題 ●人口減少社会・少子高齢化 ●コミュニティ崩壊 ●地域の産業活力の低下 ●エネルギー問題

幸福度の高い福島をめざして

豊かな暮らし・地域づくり 産業の育成 人づくり 人権・人格の尊重

センターの活動

協働(自治体・企業・NPO・教育機関・市民)して個別テーマを解決する。

- ▶課題を解決するプロジェクトを生成・実行する。
- ▶課題に関する研究を行う。

民間企業の事業開発人材・起業家の育成を図る。

- ▶アントレプレナーシップ教育
- ▶事業開発・起業教育

市民(子ども、社会人)の学びを支援する。

- ▶センターを使った市民活動支援
- ▶文化を含めた市民の学び支援
- ▶震災復興、防災の学び

施設概要

福島発のオープンイノベーション／地域のイノベーションオフィスをめざす！

インキュベーションルーム（事業開発等）

本学のもつ知見を提供し、研究の高度化、多様化、国際化、地域創生の新事業、産業の創出に貢献することを目的とした施設です。



試作コーナー

①インキュベーションルーム

プロジェクトコーナー、オープンイノベーションコーナー、プレゼンテーションコーナー、試作コーナーからなり、イノベーション手法を効果的に活用できる事業開発・起業に必要な機能を備えています。



イノベーションcommons（共創拠点）

利用者同士の交流を促し、新たな事業の創造を支援することを目的とした施設です。



②イノベーションcommons

コワーキングスペース、ミーティングルームなどを備え、学内外の研究者、中小・ベンチャー企業、起業家、学生、様々な人々の創造的活動を展開する場として、各種プロジェクトミーティング、ワークショップなど分野交流に広くご活用いただけます。



コワーキングスペース



ウェイトニングスペース

両施設共通

開放時間 9:00~17:00 (土日祝・夏季一斉休業・年末年始を除く)

利用対象者 福島大学教職員学生および福島大学絆会会員等

利用目的 新たな事業の創造に伴う活動等



ミーティングルーム

